



ぐーふおだより



編集・発行
社会福祉法人
河内四つ葉会
グーフォ・かわち

〒329-1105
栃木県宇都宮市
中岡本町3178-3
TEL 028(673)0002
FAX 028(671) 0785

「新年を迎えて」

理事長 濱 雅江

平成29年4月より社会福祉法人の制度改革が施行となります。第一に「経営組織の見直し」があり、理事会、評議員会の役割が大きく変わります。第二に「事業運営の透明化」、第三に「財務規律の強化」、第四に「地域における公益的な取り組みを実施する責務」が規定されました。

今後、当法人でも新たな制度の下、安定した経営が出来るように努めていきます。十一年目を迎え、河内四つ葉会設立当初から地域に開かれた施設を目指し、利用者、保護者、支援者と共に歩んで参りました。小規模な法人で多機能型の施設ですが、利用者四十数名もバランスのとれた支援に、目をみはる成長もあり、安堵しております。

一方で利用者、保護者の高齢化や心身の機能の低下や社会的障壁によって、大変な思いをしていることに共感出来る施設でありたいと思っています。

法人設立当初からの念願でもあった居住の場、「グループホーム」「ショートステイ」の併設も開所の運びとなりました。幸い近隣の地域の皆様の深いご理解を頂けたことに深く感謝致しております。グループホームやショートステイを利用する皆さんと共に「共生社会」を築いて行けるよう努力し、支援者と共に見守っていきたくと思っています。保護者の皆様にも、「ご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます。」

「支援の輪を地域とともに」

施設長 渡 辺 みゆき

平成29年西暦、社会福祉法人河内四つ葉会も十一年目を歩み始めました。いつも大変お世話になっております。

今年は飛躍と変化の年になります。社会福祉法の改正で社会福祉法人の制度改革が進められています。地域の支えとなり、地域と共に生きていく顔の見える法人として「河内四つ葉会」への期待が大きくなってきています。十周年記念の講話では、理事長が法人設立時の熱い思いを話して下さったことをしっかりと受け止めながら日々精進してまいります。障害福祉サービス事業所「グーフォ・かわち」の役割も、職員一同見つめ直す機会にしてまいります。

今年4月からグループホーム、新規事業として短期入所が開所となります。グループホーム7名、短期入所3名の受け入れになります。新グループホーム「よつば荘」も完成し、入居者の方たちは新しい生活が始まります。家を離れ自立の一步ですが、本人はもとより保護者の方も不安がいっぱいだと思いますが、安心して生活が送れるように支援してまいります。利用者の皆さんが明るい笑顔で充実した作業や余暇の活動を楽しめるように。年度末は何かと慌ただしい日が続くかと思えます。何卒ご協力をお願いいたします。また新しい春が始まります。



★28年度の行事・地域との交流のふりかえり★

28年度行事一覧

- 4月 稼働日(作業)
- 5月 作業体験会(保護者向け)
- 7月 親子ボウリング
- 8月 稼働日(作業)
施設見学
稼働日(作業)
- 9月 うつのみやふれあい文化祭
県障害者スポーツ大会
- 10月 ハートフル体育祭
第9回グーフォ祭
障害者文化祭
- 11月 稼働日(作業)
河内地区福祉まつり
- 12月 クリスマスコンサート
もちつき・クリスマス会
- 1月 親子初詣・新年会
作業体験会(利用者向け)
- 2月 カワイ体操教室体験
- 3月 ふれあいボウリング大会(代表4名)
自治会主催行事(ボウリング)
誕生会は月末に実施



親子ボウリング

親子一緒にボウリング



うつのみやふれあい文化祭

発表シーズンの幕開け



グーフォ祭

地域の方も多く来場されました



障害者文化祭

初の土曜日参加



初詣

護国神社で初めて祈祷を受けました



クリスマス会

楽しみにしていました



保護者作業体験会

パン作業



施設見学

日産栃工場へ



かわちハートフル体育祭

地域の中で存在感をアピール



グーフォ祭

フラの発表



もちつき

衛生面に気を付けて実施



クリスマスコンサート

地域のイベントで合唱を披露



作業体験会

希望した部門で体験しました



誕生会レク

夏恒例のスイカ割り

各作業グループ報告

農園芸



28年度は青木職員の異動により、新しく鈴木達也職員が加わり、利用者職員共に新鮮な気持ちで取り組んでまいりました。また、これまで「尽力頂いた寺田職員が退職されました。この場をお借りしまして9年間大変お世話になった事、お礼申し上げます。

今年度はグーフォかわちが開所されて十周年の節目となり、農産物の生産販売種類と比例して、利用者の作業生活スキルも個人のペースで向上してきていると感じています。特に作業中や日課内において、状況を判断し自主的に対応できるようになってきています。(草柳)

パン



28年度から新しく仲間に加わった田宮さんも作業に慣れ、みんな楽しんで作業に取り組んでいます。

今年度の特徴としては、新商品と新しい取引先販売先の拡大です。新商品開発では、お客様を飽きさせないために流行の食材を使ったり、健康志向に合わせスーパーフードの食パンを増やしました。グーフォ祭で人気のリンゴパン等を施設外で販売する等の工夫や、お客様のニーズに合わせた焼き菓子の詰め合わせを価格やラッピング方法を話し合いながら製造しています。

新しい取引先や販売先の拡大については、4月から新「河内地域自治センター」で週2回販売をさせて頂いています。10月からは大同化工機工業様用に受注生産も行っています。製造に追われる忙しい日々ですが、やりがいをもつて取り組んでいます。また、販売のボランティアの皆様や取引先のご協力に助けられ、円滑に進むことができていることに感謝申し上げます。(柴田)

受注



28年度は青木職員が新たに加わり、増々パワーアップした受注班で作業が進められました。

特に繁忙期には、日に数回納品を行うなど、早さと正確さを両立して作業を進めました。

今年度の特徴としては、県社会福祉協議会の総務企画課様から広報誌封入業務を隔月に受注しました。封入した「くくしとちぎ」では、グーフォが表紙を飾る号があり、誇りを感じながら丁寧な作業が進められました。

オリジナルプリントでは、地元のテニスチームより100枚を超えるTシャツを作成しました。こちらは、3年前に関連する上部団体から約600枚を作成した経緯があり、今回の注文に繋がりました。オリジナルプリントは、個人の注文も多く、1回は少ない数でも「〇〇」で販路が広がっています。皆様もSNS等でグーフォのオリジナルプリントは「一枚から作れる」と拡散して頂けると幸いです。

今年度も各取引業者様との信頼関係を大切にしながら作業を行い、利用者さんと協力しながら、良い製品を丁寧に作っていききたいと思います。(柏嶋)

織物



28年度は体調に合わせて休憩したり気分転換をしましたが、織の生産性は上がっていて、製作が追いつかない状況です。技術的に伸びた方には、難しい幅広の織りにも挑戦してもらいました。きれいに織れているので、織布として販売したり、洋服に仕立て販売することも少しずつ始めました。来年度の新製品は検討中ですが、織物の販売にも力を入れていこうと思います。

昨年度より「氏家縫めくり」の期間中に「きものリフォームサロン」さんのご協力で織物製品を委託販売して頂きました。冬場は行事も無く売上が下がるので、1ヶ月で二万強の売上は助かりました。今年度も依頼があり、委託販売をお願いしました。今回は小物製品の他に織布も販売したので、売上が楽しみです。

織物班は年々声かけただけでは動けないことが多くなり、「対」で支援することが増えています。保護者のご協力と周囲の職員の手を借りながら日々奮闘しています。体調面や情緒面に気をつけながら、安定して過ごせることを考えて支援していききたいと思います。(義煎)

十年戦士の振り返りコメント集

私事ですが、倅がダウン症であり、色々な面で40年間、家族全員が苦業を共にして過ごして参りました。そんな事もあり、警察人生も定年を待たずして退職し、知的障がい者が日常生活を送れる場の確保に何らかのお手伝いが出来たらとの思いがありました。知的障がい者の子を持つ親達が一丸となり法人格を取得し、法施設を立ち上げた訳です。法人認可申請に関する事務を司った私としても認可が下り、施設が立ち上がったことに達成感を感じると共に、この子達が働ける場所ができ、満足感を得ることが出来ました。

あの苦行から10年が経ち施設運営も安定し、施設に通う子達のがのびのび作業をしている姿に喜びを感じております。もっともっと幸せな出来事はあろうかと思いますが、10年を経過した今、過去を振り返り、幸せって何なのかな！と思うこの頃です。(磯町三男)

グーフォ・かわちの開所から携わらせて頂き、今まで従事してこれたのも利用者、保護者、同僚、地域の皆様のお陰だと思っております。この場をお借りしまして、大変お世話になった事、感謝申し上げます。

利用者支援では、日々の作業や掃除等を通して個人のペースで成長されている事に、支援とは何か気づかされる事が多くありました。また、自分が行っている支援が利用者に必要な「支援」として提供出来ているのが、勤続年数が経つにつれて日々考えさせられるようになりました。

9年目より従事させて頂いている計画相談では、利用者が望んでいる「暮らし」に向けてどのように計画を立てたらよいか、住み慣れた地域で公私共につながる大切さを強く感じています。

今後も、「グーフォ・かわち」に少しでも貢献できるよう、感謝の気持ちを忘れずに日々励んでまいりたいと思えます。(草柳歩)

平成18年6月2日、盛大に「グーフォ・かわち」開所式が執り行われました。多方面にわたり、大勢の本当に大勢の方々にご協力頂き、やっと産声のあがった感激の日でした。それから10年、利用者、保護者、職員が一致団結し、それぞれの立場から、利用者の人達が笑顔で一日お仕事が出来るよう応援して頂きました。4月には新しいグループホームも開所致します。地域に根ざし、皆様に可愛がって頂けますよう…今まで陰ながら縁の下の力もちとして応援して下さった大勢の方々に感謝感謝です。

厨房担当の私は「ごちそうさま、おいしかったぁ」の一言が嬉しく、つついワンプラスのメニューを考えてまいります。今までの苦労が、フクロウとなり、笑顔で大空に羽ばたける施設「グーフォ」となりますよう願ってやみません。感謝以外、言葉がありません。皆様、本当にありがとうございました。(磯町和子)

平成18年6月に開所してからパン班の皆さんと仕事をさせて頂き、10年が経ちました。

最初は手の洗い方から始まり、パン生地扱い方、用具の使い方など、細かい練習に取り組み、個々の小さな努力を積み重ねる毎日でした。やがてそれが作業工程として徐々につながり、試行錯誤を繰り返しながらパン作りの基礎を作ることが出来ました。もちろん得意とする作業、苦手な作業があるので、互いにカバーしながらのチームプレーです。この数年はパンから焼き菓子へと幅も広がり、複数の作業を同時進行しています。多くの仕事を黙々とこなす姿はいつの間にか大きく、頼もしくなり10年の月日を感じます。嬉しいことであり感謝の気持ちでいっぱいです。

今日の姿があるのは、地域の皆様、多くの方々の支援のおかげです。厚くお礼申し上げます。(加藤奈穂美)

平成18年6月の開所式からグーフォは、利用者と共に授産施設としての一歩が始まりました。最初、職員は作業に使う道具などで利用者がケガをしないよう使い方、使用後の片付けなど、そして仕事をして注文通りの製品を作って納入する作業であることを教える日々であったと思います。

織物は4名でスタートし、3名は織機が初めてでした。でも、手と足の動かし方を一週間程で覚えました。さをりの精神に「教えないで引き出す」があります。自分で横糸となる色を選び、自由に織ってもらう。各自の感性が織りに表れていると思います。グーフォに来ている時間、利用者の皆さんが楽しく、心穏やかに過ごせる支援が出来ればと思います。(中野滋)

大学で福祉を学び、知的の入所更生施設や身体デイを経て、グーフォ勤務となりました。10年経った今でも、現場では失敗と反省の連続で、日々勉強中です。

開所間もない頃の受注班は毎日の安定した作業が無いこと、納期厳守の為の残業や休日出勤もあり、心身共に疲弊していたのを思い出します。「授産って辛い」が最初の感想でした。当時の受注班では「仕事きっちり」の合言葉で少人数での作業でした。取引業者と信頼関係が築けるまでの3年程度は、「我慢」の月日でした。

10年間勤務出来た要因の一つは、利用者さんの成長にあります。峰前施設長の言葉で「作業支援で利用者は成長する」があり、それを実感出来たことにあります。特性に合った「治具」があれば重度の方も作業に参加し、成功体験を積むことで自信や成長に繋がっていく。学校の机上の勉強では無く、初めての授産の現場でそれを身をもって体験出来たことを利用者の皆さんに感謝したいと思います。(高月俊彦)

「グーフォ・かわち」トピックス

「わく・わくアートコンクール」inうつのみや2016

★今年度は4名の方が入賞されました。

審査員特別賞：電田友香さん

わく・わく賞：牧田智博さん 薄井友孝さん 吉永詩織さん



環境整備株式会社様での贈呈式

28年度ご寄付を頂いた方々のご紹介 (29年2月1日現在)

★【物品関係】(順不同)

環境整備株式会社様 電機連合栃木地方協議会様

とちぎボランティアネットワーク様 栃木銀行様 五月女純様

近隣農家の田村様 佐々木清美様 松山智子様 保護者の皆様

★【寄付金関係】(順不同)

三谷 知子様 味野和博子様 薄井 朋宏様 磯町 俊仁様

森田 静様 岩城 幸穂様 石渡 安夫様 小池 譲様

電田 作様 芝野 久雄様 今平トシエ様 郷間 貞男様

峰 寛子様 中村 雄二様 竹内 康弘様 小森 章弘様

落合 恒夫様 山田 文子様 四関 勲様 宇賀神幸江様

大橋 紀元様 加藤 明美様

橋本知恵子様 アシストン様

古谷 勝子様



電機連合栃木地方協議会様からの贈呈式

10周年記念式典開催

★濱理事長の講話や茶会により皆で10年を祝いました。



五月女様、もち米を毎年ありがとうございます

初詣で初の祈禱を受ける!!

★渡辺施設長、柏崎支援員、牛崎伸也自治会長が玉串を奉納しました!

利用者さんも神妙な面持ちで参拝しました。



10周年式典での理事長の講話

新グループホーム完成!!

★10月に地鎮祭を行い、3月に引き渡しを受けました。

フラダンスクラブの小林先生・櫻井先生が引退!!

★開所時より長きにわたりお世話になりました。

「フレイベルスター」の皆さんが音楽クラブの先生に!



フレイベルスターの皆さん、お世話になります



フラの先生方、長い間ありがとうございました



グループホーム完成!



グループホーム地鎮祭



10周年式典に峰前施設長もかけつけてくれました



栃木県護国神社での初祈禱

今年度「グーフォ・かわち」を支えて下さった方々のご紹介

【クラブ活動ボランティア】

♪音楽♪

フレーベルスターさん

♥フラダンス♥

小林和子さん
櫻井須美子さん

【作業ボランティア】

さぎ草ボランティアさん

林田国博さん

深谷明功さん

福田正子さん

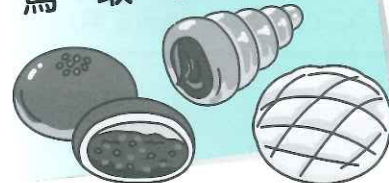
福島玲子さん

【パン販売ボランティア】

見目勝義さん

山智子さん

鳥取弘美さん



グーフォ・かわち 保護者会より

「平成28年度を振り返る」

保護者会会長 郷間 ミツエ

保護者会活動につきまして、濱理事長をはじめ職員の皆様、保護者会の皆様には、常日頃からご理解とご支援を頂き、厚くお礼申し上げます。お陰様で、平成28年度の事業を無事に終了することが出来ました。

平成28年度の新規事業として、5月から「施設充実支援金」の納付を開始、年度末に施設へ寄贈致します。ご協力ありがとうございました。

6月17日、施設開所十周年の記念講話と茶会が開催されました。これからもグーフォ・かわちが利用者・保護者の拠り所として益々の発展を祈念致します。

平成29年3月、長年の懸案でした「グループホーム」が完成。4月入所の運びとなりました。

平成29年度は役員の改選となります。変わらぬご協力とご支援をお願い致します。



編集後記

10周年の記念の年、私自身も開所時より関わらせて頂いたので、感慨深い節目となりました。

開所前から開所した後、峰前施設長、三谷職員、菊地職員、草柳職員とで施設の基礎を作る大事な時期である為、多くの時間を費やし議論や研修、治具の開発等を行いました。激動・激務の黎明期を過ごした同僚はまさしく「戦友」でした。今では戦友も少なくなりましたが、それぞれ新たな環境で活躍をしているので、自分も励みになります。

グーフォの記録写真を10年を機に全て見返してみました。そこで思うことは、職員や制度が変わっても利用者に向かう姿勢は、「不変」でなければならないということです。職員も色々な個性の集まりで、支援の幅が広がります。富士山の登山に例えるならば、多くの登山口があっても、目指す山頂は同じはず。それぞれの個性で利用者に向き合い、対人援助の最終的な方向性である「山頂」は皆が統一していなければならない。そのことを肝に銘じながら職員間の連携を図りつつ、「利用者本位」の姿勢と、法人設立時の「思い」を再確認するいい機会となりました。

新たな歴史の1ページに向けて、統一した「山頂」でいご来光が見られることを願ってやみません。グーフォに関わる全ての方の輝ける未来のために…(高月)

思い出写真館



竣工式 (H18.7.29)



開所式 (H18.6.2)



開所式の日



三谷知子職員 & 高橋美沙職員



峰寛子施設長 & 菊地綾子職員